

## 中国語教育学会への移行に際し

会員の皆様にご挨拶とお願い

全国中国語教育協議会は準備会発足から5年半を経て、これまでセミナーを中心とする活動を恒常的に展開してまいりましたが、このたび一層の発展をはかるため、準備会段階から声のあがっていた中国語教育学会への移行を、会報でご報告しましたように、今次会員総会で議決いたしました。

これまでの成果をふまえ、今後、会員規模と活動項目を拡大し、中国語教育界において意義のある存在となるため移行は極めて自然なことと考えます。今後は、学会を名乗ることで、大学・研究機関をはじめ、社会的に広く認知されることでしょう。さらに、新しい大学設置基準では大学教員の場合、教科書・教材の作成、教学研究や実践報告など、教育学会における会員の活動がそのまま教育業績に評価されます。

これまで事務局が弱体であったため、一部会員の参加にとどまる活動に終始した反省をふまえ、教育学会発足にあたっては、まず事務局を中心とする基盤作りを心掛け、第一期会長の任期中に学会としての存在を確立するようにつとめます。当面は、教育協議会の仕事として会員からの寄稿で公刊の遅れているものの処理、新しい構想による研修会、研究会の開催準備等のため、一時的に日常の活動が鈍ることもありますが、将来の飛躍に備えてのこととご理解ください。これまでの協議会会員各位には移行後も引き続き教育学会の会員としてご支持とご援助を賜りたく存じます。

学会移行により、会報掲載の通り会則も新しくなりますので、引き続き会員として参加されるかどうか、お手数でも同封の葉書で折り返しご回報いただきたく存じます。連休明けには集計の上、教育学会としての新しい会報と新しい会費のご請求を申し上げます。万一お返事のない場合は従来通りのご案内をいたします。以上、ご挨拶とお願いまで。

2002年4月

中国語教育学会 会長 輿水 優